



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第472号

2020年9月14日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

子育て世代の転出が増加する米本団地

八千代市教育委員会が阿蘇・米本地域の小・中学校統廃合を計画してから、米本団地の児童数が減少しています。教育委員会は、「より良い教育環境」をつくるために統廃合すると言いますが、団地内の米本小学校及び米本南小学校から多くの子育て世代が転出しています。

下の表は、米本小学校の児童数の変化を現わしています。H29年には在校生が86人いましたが令和2年には52人まで減少しました。H29年に3歳の子は15人いたのに令和2年に入学したのは7人で半数が転出していることがわかります。

(この表は教育委員会の統廃合説明会で使った米本小の資料を基に作成しました。)

H29年	3歳	4歳	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～6年生合計
児童数	15	11	20	13	11	10	20	15	17	在校生 86人
H31年	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年			
児童数	9	11	15	6	10	7	18			在校生 67人
令2年	1年	2年	3年	4年	5年	6年				
児童数	7	9	13	6	10	7				在校生 52人

現実を把握していない教育委員会

米本南小学校の児童数もH29年には123人在学していましたが、令和2年には94人まで減少しています。米本団地から子育て世代(40歳～49歳)が、H29年から令和2年までの間に187人が転出しています。この実態について、教育委員会がどう認識しているか問いただしたところ、小林教育長は「把握していない」と答弁しました。この5年間、小中一貫校をつくることだけにこだわっていた教育委員会は、子育て世代の転出には全く気を配りませんでした。

阿蘇中学校に「小中一貫校」をつくるという方針が出た時から、保護者は「団地から小学校をなくなれば、安心して登校させることができない。」と心配し、「子育てができなくなるなら団地から引越しをする」ということで、子育て世代がどんどん引っ越したのです。

学校統廃合が地域コミュニティの崩壊を招いています。教育委員会の責任は重大です。

少人数学級が当たり前の学校に

教育委員会は、子育て世代が転出している事実には目もくれず、相変わらず「少人数学級では教育が成り立たない」との理由で、学校統廃合を進めています。しかし、コロナ禍のなかで「少人数学級」の実現は、国民共通の願いとなっています。平成27年6月に全会一致で議決された、八千代市議会の決議では、「若者の流出を最小限にとどめ、流入を促進する。……八千代市には、その課題解決に向かう社会的責任がある。」と述べています。

日本共産党は、服部市長に決議を尊重することを求め、子どもの人権を無視し、地域の崩壊を招く学校統廃合方針の撤回まで地域と協力して頑張ります。

